

*Pioneer*

AV マスターユニット

# AVM-P7000

取扱説明書

**carrozeria**

目次 4 ページ

# 安全のために必ずお守りください

## 絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



### 警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



### 注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意 (警告を含む) しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止 (やってはいけないこと) の内容です。



必ず行う

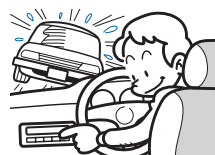
このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

# 安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

## 警告

### [使用方法]

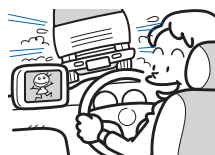
#### 運転中に操作をしない



禁止

画質の調整を行うときは、画面を長く見る必要があります。自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。

#### 走行中にテレビやビデオを見ない



禁止

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり、交通事故の原因となります。

### [異常時の処置]

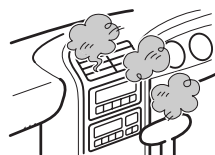
#### 故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

#### 異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

#### ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

# 目次

## はじめに

- 1 各部のなまえ 6
- 2 メインコントローラーの準備 7

## ここだけで

### ここだけ読めばすぐ使えます

- 1 聞きたいソース (音源) を選ぶ 8
- 2 ラジオのふだんの操作 10
  - バンドを選ぶ
  - 放送局を選ぶ
  - 音量を調節する
- 3 マルチCDのふだんの操作 12
  - CDを選ぶ
  - 曲を選ぶ
  - 早送り/早戻しをする
  - 音量を調節する

## ラジオ

### ラジオを聞く

- 1 複数の放送局を自動的に記憶させる 14
- 2 放送局を1局ずつ記憶させる 16
- 3 記憶させた放送局を呼び出す 17
- 4 モードの切り換えかた 17
- 5 放送局名を変更する 18

## マルチCD

### マルチCDでCDを聞く

(別売のマルチCDを組み合わせたときのみ)

- 1 聞きたいCDを直接選ぶ (6/12枚) 20
- 2 おおまかに選んでから聞きたいCDを選ぶ (50枚) 21
- 3 モードの切り換えかた 22
- 4 同じ曲やCDを繰り返し聞く 24
- 5 聞きたい曲やCDをさがす 26
- 6 いつもと違う曲順で聞く 28
- 7 聞きたい曲だけ記憶させておく 29
- 8 記憶させた曲だけ再生する 30
- 9 記憶させた曲を1曲ずつ記憶から消す 31
- 10 記憶させた曲をCDごとに記憶から消す 32
- 11 CDのタイトルを記憶させる 33
- 12 「CD TEXT」のタイトルや歌手名を表示させる 36
- 13 CD再生を一時停止する 38
- 14 CDの音質を調整する 39

## 音の調節

### 音を調節する

- 1 オーディオ調節モードの切り換えかた 40
- 2 前後左右の音量バランスを調節する 41
- 3 低音・中音・高音を調節する 42
- 4 小音量時の音にメリハリをつける 43
- 5 サブウーファーを使う 44
- 6 サブウーファーを調節する 46
- 7 前にステージがあるような感じにする 47
- 8 各ソースの音量の違いをそろえる 48
- 9 瞬時に音量を小さくする 49

すぐに使いたいときは、  
ここをお読みください。

## 映像

### 映像の調節と切り換え

1	画質調節する	50
2	いろいろな映像を見る	51
3	リアモニターで ビデオの映像を見る	52

## その他

### その他の機能と付録

1	よく使う機能を学習させる	54
2	時計を表示させる	56
3	交通情報を受信する	57
4	初期設定モードの切り換えかた	58
5	時計を合わせる	59
6	テレビのときに オートアンテナをのばす	60
7	外部機器の音声を聞く	61
8	外部機器の名称を入力する	62
9	スピーカー入力の音声を聞く	63
10	ビデオ入力の映像を見る	64
11	本機のリセットについて	66
12	ミュート機能について	66
13	故障かな？と思ったら	67
14	本機の操作の概要	68
15	保証書とアフターサービス	70
16	おもな仕様	71

はじめに

ラジオを聞く

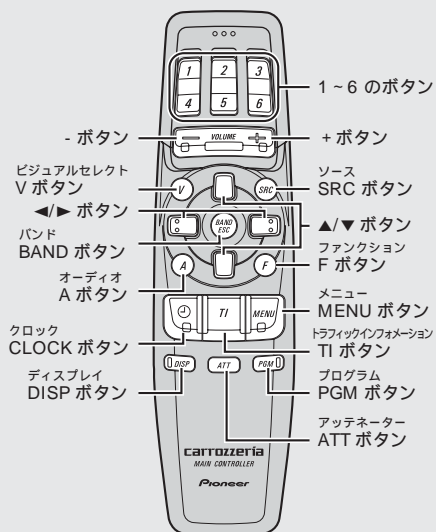
マルチCDでCDを聞く

音を調節する

映像の調節と切り換え

その他の機能と付録

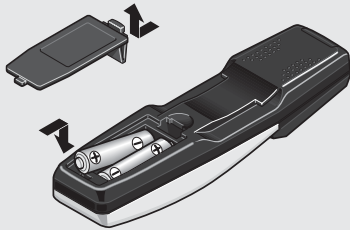
## メインコントローラー



付属のメインコントローラーを使うための準備です。

## メインコントローラーに電池を入れる

裏フタを開けて、単4形乾電池 (R03) 2本をセットします。



メインコントローラーの操作可能範囲が狭くなったときは、新しい電池と交換してください。

## メインコントローラー 取り扱い上のご注意

メインコントローラーを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

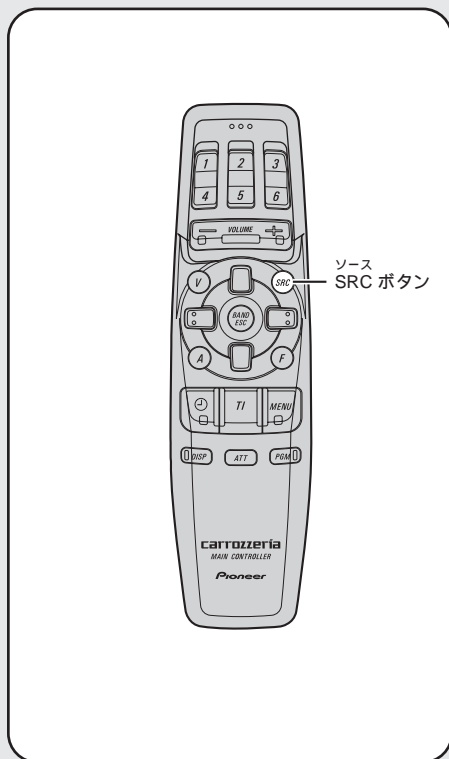
モニターに直射日光が当たっていると、メインコントローラーの操作ができないときがあります。このようなときは、モニターにメインコントローラーを近づけて操作してください。

乾電池は、充電しないでください。メインコントローラーを長い間使わないときは、電池を取り出してください。

電池の液もれが起こったときは、内部についた液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ換えてください。

## 聞きたいソース (音源) を選ぶ

聞きたいソース (音源) に切り換えることができます。



### 1 ソースを切り換える

SRC ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

- 1 枚型 CD (別売)
- テレビ (別売)
- ビデオ A
- ビデオ B
- ラジオ (FM/AM)
- 1 枚型 MD (別売)
- マルチ MD (別売)
- マルチ CD (別売)
- AUX (外部機器) (別売)
- スピーカー入力
- 1 枚型 CD に戻る



## 2 電源を切る

SRC ボタンを 1 秒以上押す  
本機の電源が切れます。

### テレビ、1 枚型 CD、1 枚型 MD、 マルチ MD を接続したときは

操作のしかたは、それぞれの取扱説明書  
をご覧ください。

組み合わせ例

ソース	製品の型番
テレビ+1 枚型 CD	「AVX-P7000CD」
1 枚型 MD	「MDS-P7000」
マルチ MD	「MD-P100II」

上記の製品の取扱説明書では、本機以外  
の製品を例にして、操作説明が行われて  
いる場合があります。その製品と対応し  
ているボタンで操作を行ってください。

本機に MD プレーヤーを組み合わせた  
場合、MD のタイトル表示はアルファ  
ベットのみです。

### メモ

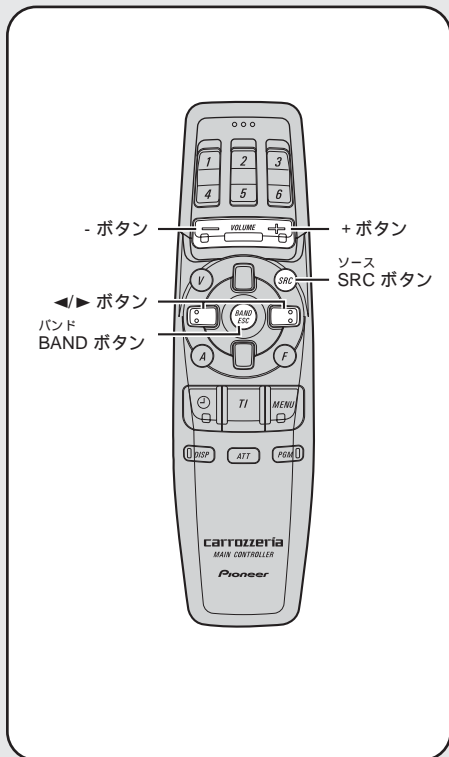
接続していないソースには切り換わりません。  
CD や MD がセットされていないときは、その  
ソースには切り換わりません。  
ビデオの設定 (☞ その他 ⑩ 64 ページ) を ON にし  
ないと、ビデオ A または B には切り換わりません。  
AUX (外部機器) の設定 (☞ その他 ⑦ 61 ページ)  
を ON にしないと、AUX には切り換わりません。  
スピーカー入力の設定 (☞ その他 ⑨ 63 ページ) を  
ON にしないと、スピーカー入力には切り換わりま  
せん。

# ここだけで ラジオのふだんの操作

バンドを選ぶ

放送局を選ぶ

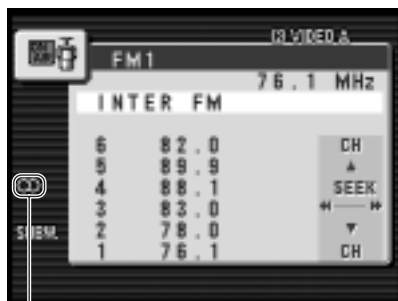
ここだけの操作で、ラジオを聞くことができます。



## 1 ソースを ラジオにする

SRC ボタンを押す

ラジオを受信します。

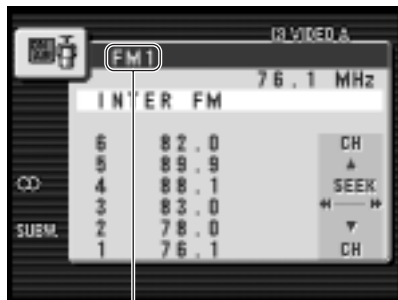


ステレオ放送を受信すると表示されます。

## 2 バンドを 選ぶ

BAND ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のようにバンドが切り換わります。



FM1 FM2 AM1 AM2

### メモ

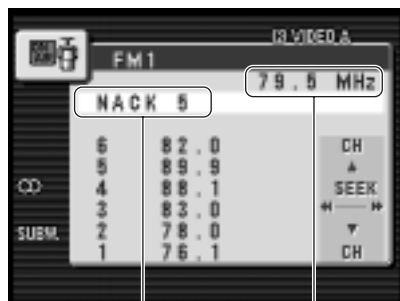
FMとAMのどちらとも、より多くの放送局を記憶できるように、1と2のバンドに分かれています。(受信できる周波数は1と2のどちらも同じです。)

バンド1 (FM1, AM1) には、よく聞く放送局を記憶させます。バンド2 (FM2, AM2) には、それ以外の放送局を記憶させます。例えば、旅行先や出張先などでどんな放送局があるか知らない地域に行ったときにBSMや手動で記憶させると便利です。バンド1に記憶してある放送局は、そのまま使いになれます。

### 3 放送局を 選局する

◀ または ▶ ボタンを押す

- ▶ : 高い周波数の放送局を選局するとき
- ◀ : 低い周波数の放送局を選局するとき



放送局名

受信周波数

選局方法の使い分け

手動選局 (1ステップずつ) 0.5秒未満

自動選局 0.5秒以上

0.5秒以上押し続けている間、途中の放送局をとばすことができます。ボタンを離れたところから自動選局を開始します。電波の強い放送局を選局するには、自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには、手動選局をおすすめします。

### 4 音量を 調節する

+ または - ボタンを押す

- + : 大きくするとき
- : 小さくするとき



0 ~ 30の範囲で調節できます。

約4秒間、音量が表示されます。

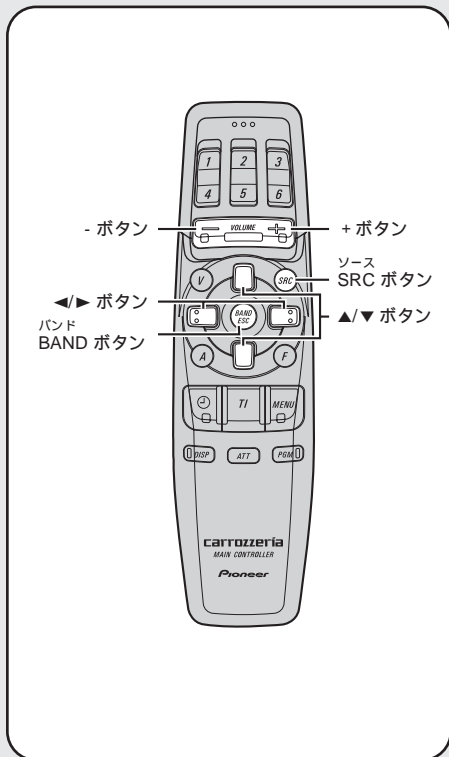
### 5 ラジオの 受信をやめる

他のソースに切り換えるか、電源OFFにする (☞ ここだけで ① 8ページ)

# ここだけで マルチ CD のふだんの操作

CD を選ぶ 曲を選ぶ

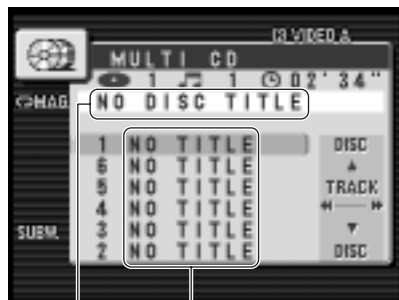
ここだけの操作で、マルチ CD プレーヤーで CD を聞くことができます。



## 1 ソースを マルチ CD にする

SRC ボタンを押す

マルチ CD の再生が始まります。



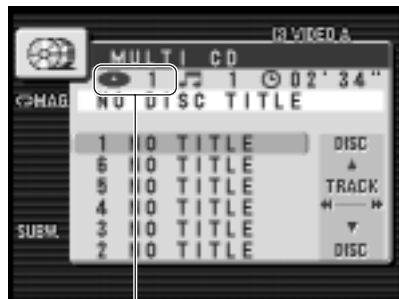
CD のタイトルが入力されている場合、そのタイトルが表示されます。

## 2 聞きたい CD を 選ぶ

▲または▼ボタンを押す

▲ : 次の CD を選ぶとき

▼ : 前の CD を選ぶとき



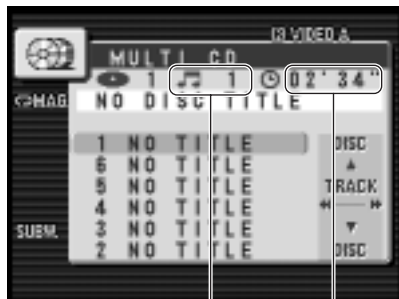
CD 番号

### 3 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)

◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



曲番号 再生経過時間

#### 選曲と早送り/早戻しの使い分け

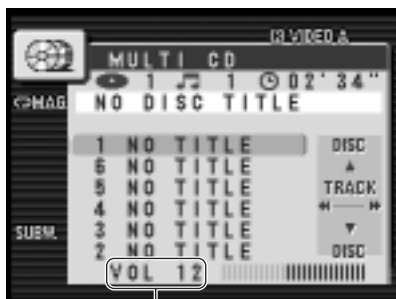
聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し 続けている間

### 4 音量を 調節する

+または- ボタンを押す

+ : 大きくするとき

- : 小さくするとき



0 ~ 30の範囲で調節できます。

約4秒間、音量が表示されます。

### 5 マルチCD再生を やめる

他のソースに切り換えるか、電源OFFにする (※ ここだけで① 8ページ)

## メモ

マルチCDが準備動作 (CDの有無の確認やCDの情報の読み込みなど) をしている場合があります。このとき、ソースをマルチCDに切り換えると“READY”が表示されます。

50連奏マルチCDを操作する場合は、準備動作が終了していないと“NOT READY”と表示され動作しない機能があります。その場合は、50連奏マルチCD以外のソースに切り換えてください。その間に自動的に準備動作を行います。

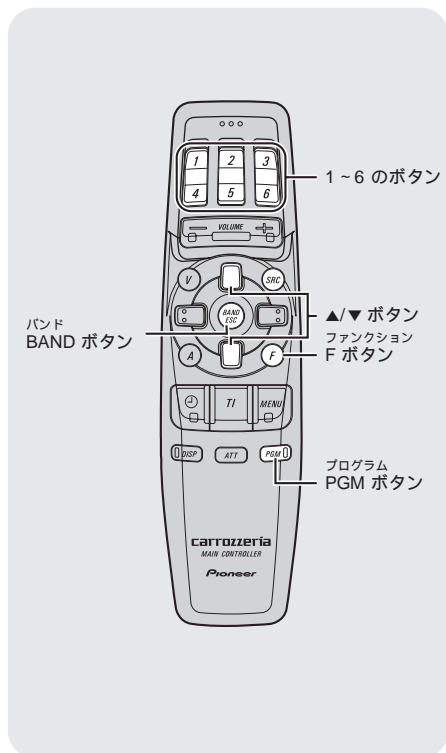
本機に、50連奏マルチCDプレーヤー「CDX-P5000」を接続しても、次の機能は操作できません。

- \* ミュージックグループ別プレイ
- \* 演奏頻度別プレイ
- \* “ABC”ディスクタイトルサーチプレイ

マルチCD再生中にマルチCDからマガジンを取り出すと、“NO MAGAZINE”が表示されます。マルチCDプレーヤーによっては、別売のIP-BUS拡張アダプター「CD-P33」などを使うと、複数台接続することができます。複数台接続したときは、BANDボタンを押すごとに次のマルチCDに切り換わり、再生するマルチCDを選ぶことができます。

MAGAZINE 1 MAGAZINE 2 MAGAZINE 3  
MAGAZINE 1に戻る

接続できる台数については、IP-BUS拡張アダプターの説明書をご覧ください。(「CDX-P620S」などが複数台接続に対応しています。)



ラジオ  
1

# 複数の放送局を自動的に記憶させる

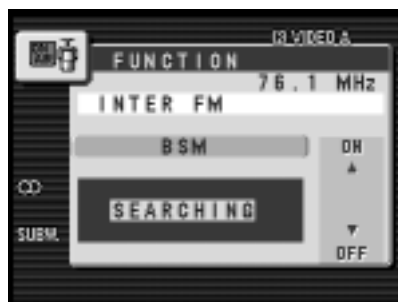
受信状態の良い放送局をさがして、自動的に1~6のボタンに記憶させることができます。

## 1 記憶させるバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す  
(※ ここだけで ② 10 ページ)

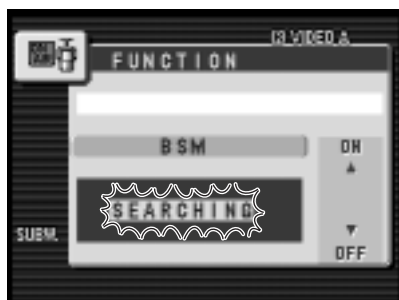
## 2 BSM 設定モードにする

F ボタンを押す

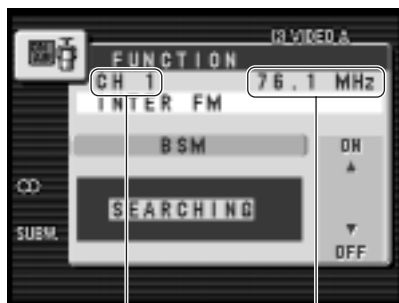


## 3 BSM を始める

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで途中解除)



記憶動作中に点滅します。



受信中の記憶番号

受信周波数

記憶が終わると、1のボタンに記憶した放送局を受信します。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

## メモ

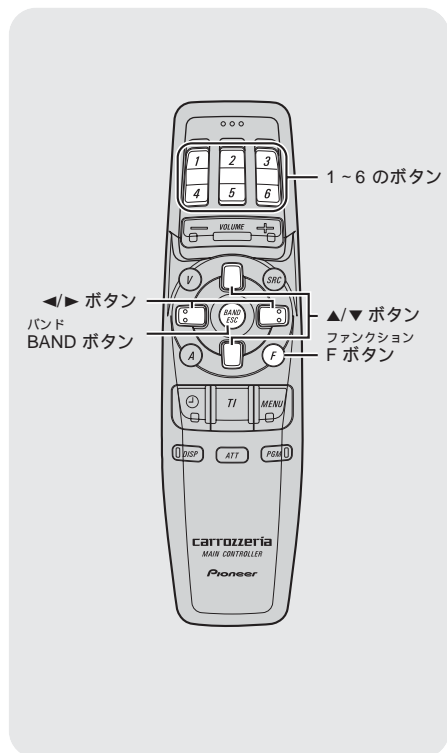
受信状態の良い放送局が、6局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。

BSMとは、Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー)の略です。

記憶させた放送局を呼び出すには (ラジオ ③ 17ページ)

バンド1 (FM1、AM1) には、よく聞く放送局を記憶させます。バンド2 (FM2、AM2) には、それ以外の放送局を記憶させます。例えば、旅行先や出張先などでどんな放送局があるか知らない地域に行ったときにBSMや手動で記憶させると便利です。バンド1に記憶してある放送局は、そのままお使いになれます。

BSMは、PGMボタンで操作することもできます。(その他 ① 54ページ)



ラジオ

2

# 放送局を1局ずつ記憶させる

プリセットメモリー

1～6のボタンに、お好みの放送局を、1局ずつ手動で記憶させることができます。

1

記憶させるバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す

(☞ ここだけで ② 10 ページ)

2

記憶させたい放送局を選局する

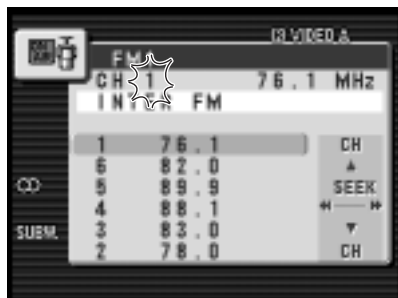
◀または▶ ボタンを押す

(☞ ここだけで ② 10 ページ)

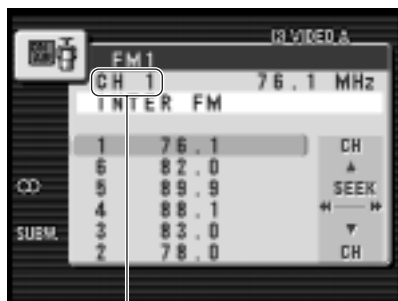
3

記憶させる

1～6のボタンの1つを2秒以上押す



押したボタンの番号(記憶番号)が点滅します。



点滅が終わると、押したボタンに受信中の放送局が記憶されます。

メモ

記憶させた放送局を呼び出すには (☞ ラジオ ③)



記憶させた放送局を  
呼び出す

プリセットチューニング

記憶させた放送局は、簡単に呼び出すことができます。

## 1 記憶させたバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す

(☞ ここだけで ② 10 ページ)

## 2 記憶させた放送局を呼び出す

記憶させた放送局を直接呼び出すとき

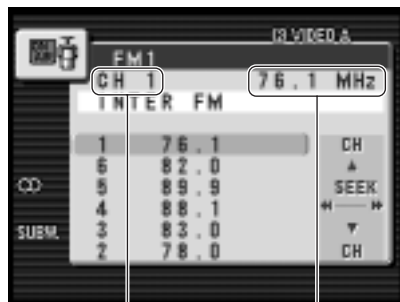
1 ~ 6 のボタンの1つを押す

記憶させた放送局を順番に呼び出すとき

▲ または ▼ ボタンを押す

▲ : 次の記憶番号の放送局を呼び出すとき

▼ : 前の記憶番号の放送局を呼び出すとき



受信中の記憶番号

受信周波数

## モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

## 詳細設定モードの切り換え

## 1 詳細設定モードにする

F ボタンを2秒以上押す

## 2 詳細設定モードを切り換える

F ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

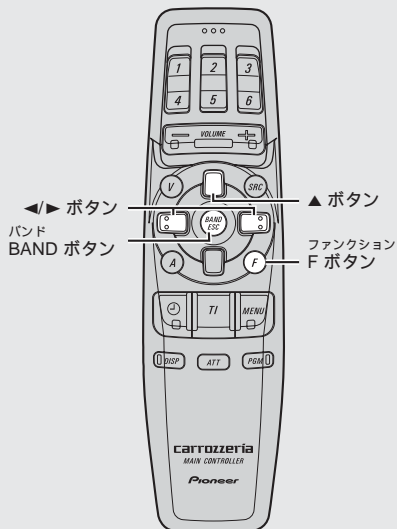
放送局名選択モード (☞ ラジオ ⑤ 18 ページ)

プログラムファンクション設定モード  
(☞ その他 ① 54 ページ)

放送局名選択モードに戻る

## メモ

詳細設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。

ラジオ  
5

## 放送局名を変更する

画面に表示されている放送局名が、受信している放送局名と異なるときは、放送局名を変更することができます。

## 放送局名表示について

同じ周波数でも、地域によって受信する放送局は違うことがあります。(例:FM 80.0 MHz を使用している放送局は“TOKYO FM”“FM AOMORI”“FM FUKUOKA”など複数あります。)

本機には、あらかじめ放送局名が記憶されています。ディスプレイに表示されている放送局名が受信している放送局名と異なる場合は、放送局名を変更して表示することができます。

(例：福岡でFM 80.0 MHz に周波数をあわせた場合、“FM FUKUOKA”を受信しますが、本機の初期設定のままお使いになると、表示は“TOKYO FM”となります。このようなときは以下の手順で放送局名を変更することができます。)

## メモ

選んだ周波数に該当する放送局名が記憶されていないと、“NO DATA”と表示されます。

放送局名を表示させたくないときは、“-----”(全て空白)を選んでください。

パイオニア製のFM モジュレータータイプのマルチCD (「CDX-FM653」など) をお使いの方は、モジュレーター周波数にあわせると、放送局名を“FM M-CD”に変更して表示することができます。

パイオニア製のTV をFM モジュレーターでお使いの方は、モジュレーター周波数にあわせると、放送局名を“FMTV SOUND”に変更して表示することができます。

## 1 記憶させるバンドを選ぶ

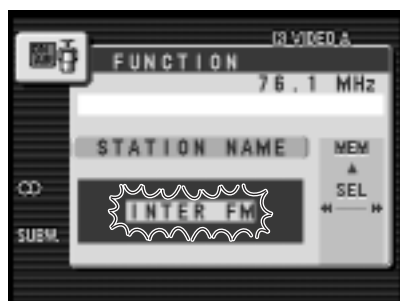
BAND ボタンを押す  
(☞ ここだけで ② 10 ページ)

## 2 記憶させたい放送局を選局する

◀または▶ ボタンを押す  
(☞ ここだけで ② 10 ページ)

## 3 放送局名選択モードにする

F ボタンを2秒以上押してから、F ボタンを押して選ぶ (☞ ラジオ ④ 17 ページ)



## 4 放送局名を選ぶ

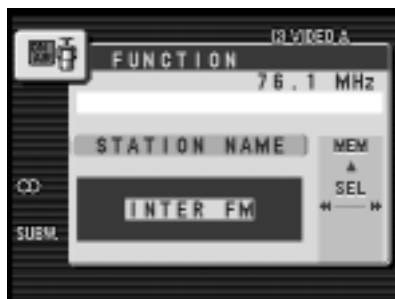
- ◀または▶ ボタンを押す
- ▶ : 次の放送局名を選ぶとき
- ◀ : 前の放送局名を選ぶとき



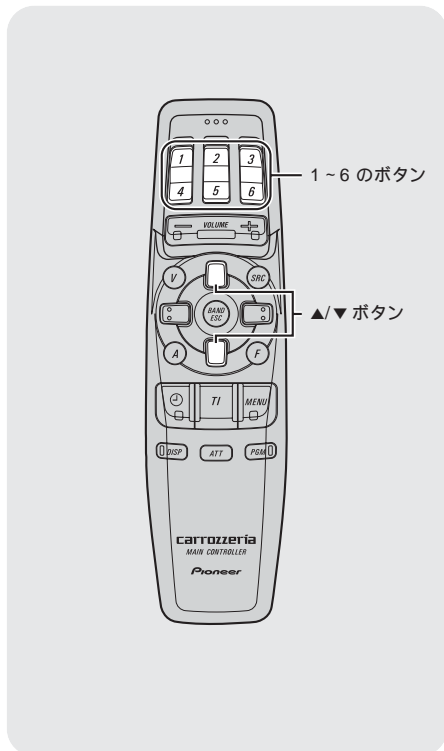
受信中の周波数に該当する放送局名を表示します。

## 5 放送局名を変更する

- ▲ ボタンを押す



BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。



## マルチCD 1 聞きたいCDを直接選ぶ (6 / 12 枚) ダイレクトサーチ

聞きたいCDにワンタッチで切り換えることができます。

チェック 6連奏 / 12連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

### 1 聞きたいCDを選ぶ

1 ~ 6 のボタンを押す

2秒未満：1 ~ 6 枚目のCDを選ぶとき

2秒以上：7 ~ 12 枚目のCDを選ぶとき



CD番号

## おおまかに選んでから聞きたいCDを選ぶ (50枚)

ラフサーチ

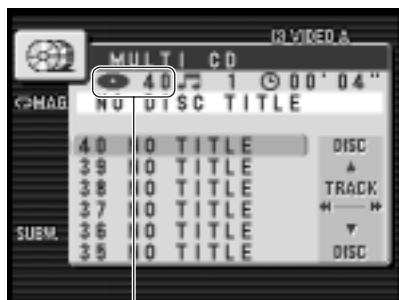
聞きたいCDの10の位の数字を合わせることができます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

## 1 聞きたいCDをおおまかに選ぶ

1～5のボタンを押す

- 1 : 10～19枚目のCDを選ぶとき
- 2 : 20～29枚目のCDを選ぶとき
- 3 : 30～39枚目のCDを選ぶとき
- 4 : 40～49枚目のCDを選ぶとき
- 5 : 50、51枚目のCDを選ぶとき



CD番号

## 2 聞きたいCDを選ぶ

▲または▼ボタンを押す

- ▲ : 次のCDを選ぶとき
- ▼ : 前のCDを選ぶとき



CD番号

## メモ

エクストラトレイにあるCDを選んだときや、エクストラトレイからマガジンにCDが移動しているときは、「LOADING」が表示されます。(※50連奏マルチCDプレーヤーの取扱説明書)

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

### ファンクションモードの切り換え

#### 1 ファンクションモードを切り換える

F ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

再生範囲切換モード

(☞ マルチCD ④ 24 ページ)

ランダムモード

(☞ マルチCD ⑥ 28 ページ)

スキャンモード

(☞ マルチCD ⑤ 26 ページ)

ITS再生モード

(☞ マルチCD ⑧ 30 ページ)

ポーズモード

(☞ マルチCD ⑬ 38 ページ)

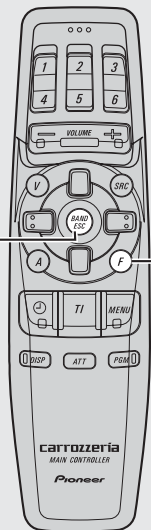
COMP切り換えモード

(☞ マルチCD ⑭ 39 ページ)

リピートモードに戻る

バンド  
BAND ボタン

ファンクション  
F ボタン



## 詳細設定モードの切り換え

### 1 詳細設定モードにする

F ボタンを2 秒以上押す


### 2 詳細設定モードを切り換える

F ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

タイトル入力モード

( マルチCD ⑩ 33 ページ)

ITS入力モード ( マルチCD ⑦ 29 ページ)

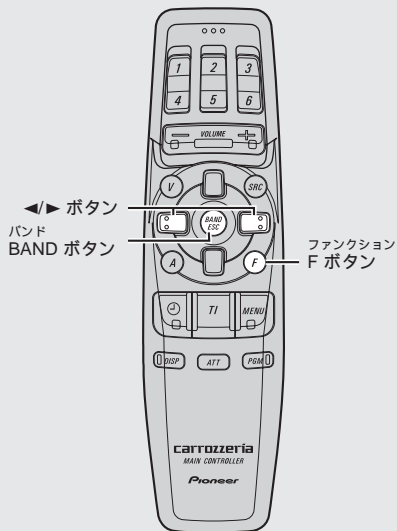
プログラムファンクション設定モード

( その他 ① 54 ページ)

タイトル入力モードに戻る

#### メモ

詳細設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。



## マルチCD 4 同じ曲やCDを繰り返し聞く

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、1枚のCDを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

### 再生範囲について

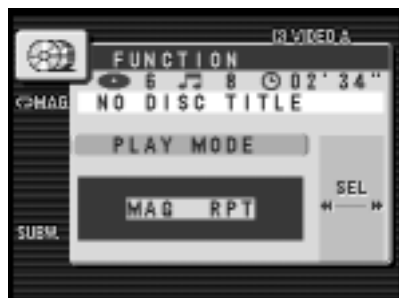
再生範囲（繰り返し聞く範囲）は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
トラックリピート	再生中の曲を繰り返し再生します。
ディスクリピート	再生中のCDを繰り返し再生します。
マガジンリピート	マルチCDのマガジンにセットされているすべてのCDを通して再生します。（通常はこのモードにしておきます。）

### 1 再生範囲切換モードにする

F ボタンを押して選ぶ

(※ マルチCD ④ 22 ページ)



### メモ

マルチCDを2台以上接続したときは、マルチCDリピートの次に、オールリピート (ALL) に切り換わります。オールリピートにすると、接続したすべてのマルチCDを通して再生します。



## 2 再生範囲を切り換える

◀または▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



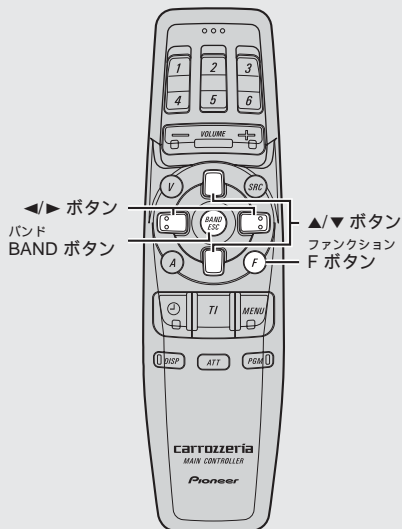
TRK、TRACK RPT (トラックリピート)

DISC、DISC RPT (ディスクリピート)

MAG、MAG RPT (マガジンリピート)

TRK、TRACK RPTに戻る

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



## マルチCD 5 聞きたい曲やCDをさがす

今聞いているCDの曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ徐々に聞くことができます。また、すべてのCDの1曲目の始めの部分だけを徐々に聞くこともできます。

### 1 再生範囲切換モードにして再生範囲を選ぶ (E3 マルチCD ④ 24ページ)

聞きたい曲をさがすとき  
(トラックスキャン再生)

ディスクリピートまたはトラックリピートにする

再生中のCDの全曲を、約10秒ずつ再生できます。

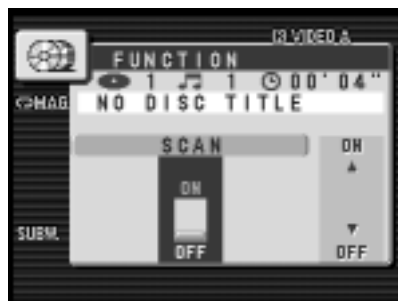
聞きたいCDをさがすとき  
(ディスクスキャン再生)

マガジンリピートにする

マルチCDのマガジン内すべてのCDの1曲目だけを、約10秒ずつ再生できます。

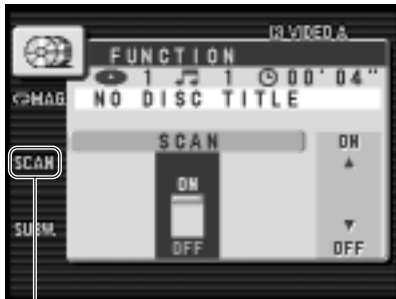
### 2 スキャンモードにする

Fボタンを押して選ぶ  
(E3 マルチCD ④ 22ページ)



### 3 スキャン再生を始める

▲ ボタンを押す



スキャン再生中に表示されます。

曲の始めの約 10 秒間が次々に再生されます。

スキャン再生を始めて約 30 秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。

### 4 聞きたい曲 (CD) が再生されたらスキャン再生を解除する

確認

ファンクションモードが解除されていたら、手順 2 の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生を解除してください。

スキャンモードのときに▼ボタンを押す



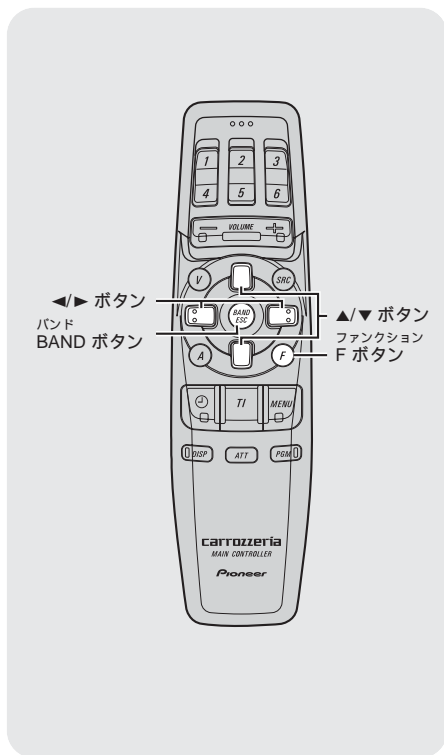
BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

スキャン再生を始めた曲 (または CD) まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

マルチ CD を 2 台以上接続したときは、手順 1 でオールリピートを選んで、スキャン再生をすることもできます。この場合、接続したすべてのマルチ CD のマガジン内すべての CD の 1 曲目だけが約 10 秒間ずつ再生されます。

トラックリピートのときに、スキャン再生を ON にすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わりスキャン再生します。



## マルチCD 6 いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲をマルチCDにまかせて、いつもと違う曲順(ランダム)で再生することができます。

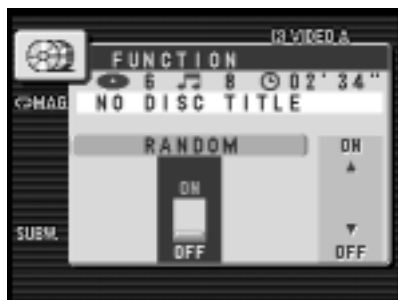
### 1 再生範囲切換モードにして再生範囲を選ぶ (※ マルチCD ④ 24 ページ)

選んだ再生範囲内でランダム再生が行われます。

### 2 ランダムモードにする

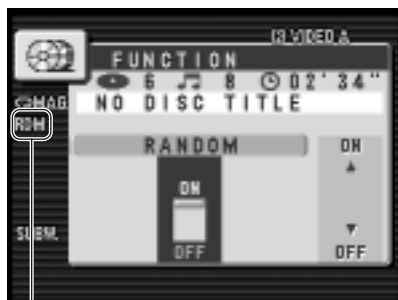
F ボタンを押して選ぶ

(※ マルチCD ④ 22 ページ)



### 3 ランダム再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



ランダム再生中に表示されます。

次の曲から、ランダムに選曲します。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

#### メモ

マルチCDを2台以上接続したときは、手順1でオールリPEATを選んで、ランダム再生をすることもできます。この場合、接続したすべてのマルチCDのマガジン内の曲がランダム再生されます。トラックリPEATのときに、ランダム再生をONにすると、再生範囲がディスクリPEATに切り換わりランダム再生します。

聞きたい曲だけ再生する (☞ マルチCD ③ 30ページ) ために、あらかじめ聞きたい曲をマルチCDに記憶させることができます。

## ITSについて

ITSとは、Instant Track Selection (インスタントトラックセレクション) の略です。

ITSは、聞きたい曲だけを記憶させておき、それを再生する (☞ マルチCD ③ 30ページ) 機能です。

曲の記憶はCDごとに行われます。CDを入れ換えても、そのCDの記憶は消えません。

CD1枚につき24曲まで記憶できます。(25曲以上収録されているCDでは、25曲目以降に収録されている曲は記憶できません。)

ITSは、タイトル (☞ マルチCD ① 33ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

マルチCDを2台以上接続したときも、記憶できるCDの枚数は増えません。

## 1 記憶させたいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す  
(☞ ここだけで ④ 12ページ)

## 2 ITS入力モードにする

Fボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ (☞ マルチCD ③ 22ページ)



## 3 記憶させたい曲を選ぶ

◀または▶ボタンを押す  
(☞ ここだけで ④ 12ページ)



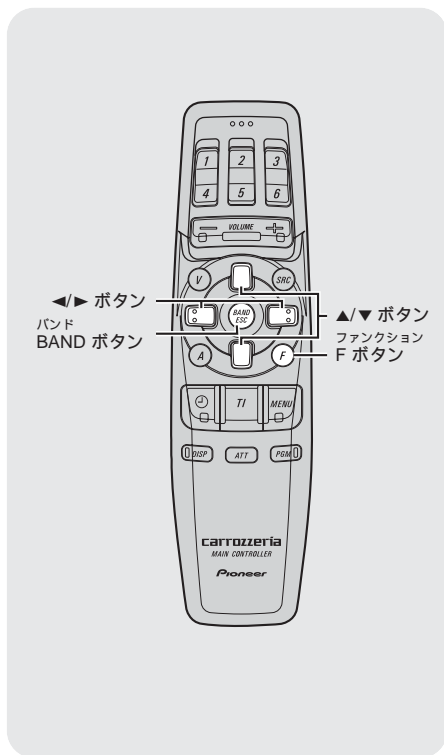
## 4 記憶させる

▲ボタンを押す



約2秒間表示され、記憶したことを知らせます。

BANDボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。



## マルチCD 8 記憶させた曲だけ再生する

ITS 再生

ITS 入力 (☞ マルチCD 7 29 ページ) で記憶させた曲だけを再生することができます。

### 1 再生範囲切換モードにして再生範囲を選ぶ (☞ マルチCD 4 24 ページ)

選んだ再生範囲内でITS再生が行われます。

### 2 ITS再生モードにする

F ボタンを押して選ぶ  
(☞ マルチCD 4 22 ページ)



### 3 ITS再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



ITS再生中に表示されます。

ITS再生が始まり、記憶させた曲だけが再生されます。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

#### メモ

手順1で選んだ再生範囲内に、記憶させた曲がない場合は、“ITS EMPTY”が約2秒間表示されて、ITS再生は行われません。

記憶させた曲を1曲ずつ消すことができます。

## 1 ITS再生をONにする

(☞ マルチCD ⑧)

## 2 消去したい曲を再生する

◀または▶ ボタンを押す

(☞ ここだけで ③ 12ページ)

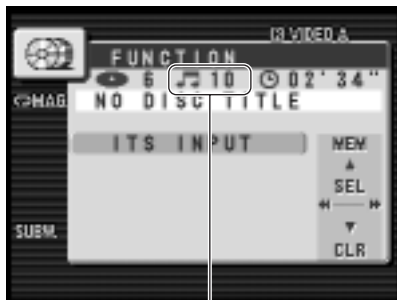
## 3 ITS入力モードにする

F ボタンを2秒以上押してから、F ボタンを押して選ぶ (☞ マルチCD ③ 22ページ)



## 4 消去する

▼ ボタンを押す



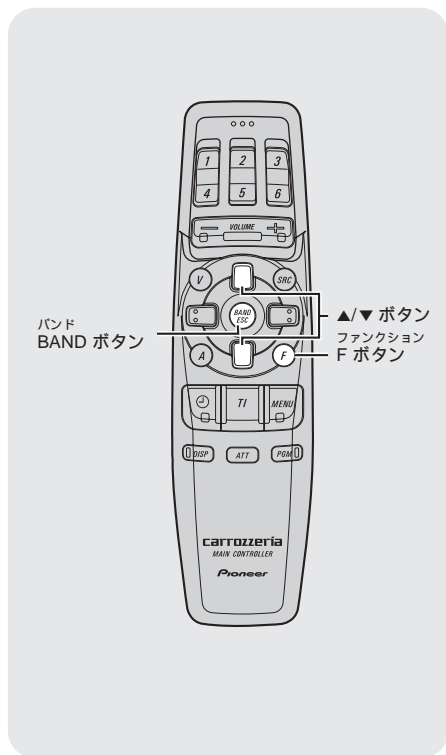
次に記憶されている曲

再生していた曲が記憶から消去され、次に記憶されている曲が再生されます。

BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

### メモ

現在の再生範囲内に記憶させた曲がなくなった場合は、“ITS EMPTY” が約2秒間表示されて、ITS再生がOFFになります。



マルチCD 10 記憶させた曲をCDごとに記憶から消す  
ITS消去 (CDごと)

記憶させた曲をCDごとに消すことができます。

1 消去したいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す  
(※ ここだけで ③ 12 ページ)

ITS再生がONになっているときは、ITS再生をOFFにしてください。(※ マルチCD ③ 30 ページ)

2 ITS入力モードにする

Fボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ(※ マルチCD ③ 22 ページ)



3 消去する

▼ボタンを押す



約1秒間表示され、消去されたことを知らせます。

BANDボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。



CDのタイトルを表示させるために、あらかじめタイトルを入力して記憶させておきます。

### タイトル表示について

タイトル表示は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、画面に表示させる機能です。

「CD TEXT」に対応しているマルチCD（「CDX-P650」など）に「CD TEXT」をセットしているときは、「CD TEXT」にタイトルを入力することはできません。

タイトルは全角で10文字まで入力できます。

タイトルは、ITS（☞ マルチCD ⑦ 29ページ）と合わせて100枚分のCDの記憶ができます。

100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

タイトルの記憶は、CDごとに行われます。CDを取り出しても消えません。

マルチCDを2台以上接続したときも、記憶できるCDの枚数は増えません。

## 1 タイトルを入力したいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す  
（☞ ここだけで ③ 12ページ）

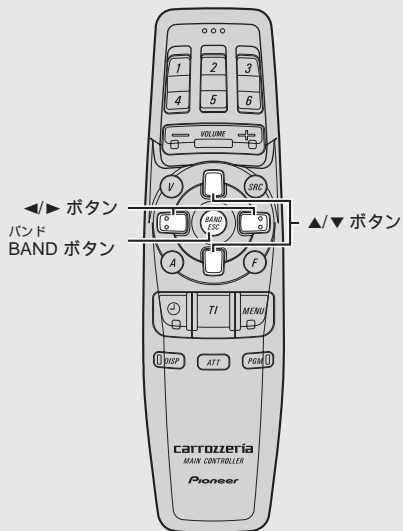
## 2 タイトル入力モードにする

Fボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ（☞ マルチCD ③ 22ページ）



### ご注意

「CD TEXT」に対応しているマルチCD（「CDX-P650」など）に「CD TEXT」をセットしているときは、タイトル入力モードには切り換わりません。（「CD TEXT」に収録されているCDタイトルは変更できません。）



### 3 タイトルを入力する

入力する文字を選ぶとき

▲または▼ボタンを押す

▲：次の文字を選ぶとき

▼：前の文字を選ぶとき

入力する位置を選ぶとき

◀または▶ボタンを押す

▶：右に移動させるとき

◀：左に移動させるとき



選んだ文字の種類が表示されます。

10文字まで入力できます。

押すボタン	選べる文字
1ボタン (1ボタンを押すごとに切り換わります。)	アルファベットの小文字 ( a ~ z ) 空白 ( _ ) アルファベットの大文字 ( A ~ Z ) 数字 ( 0 ~ 9 ) 記号 ( ! " # など ) 空白 ( _ )
2ボタン	数字 ( 0 ~ 9 ) 記号 ( ! " # など ) 空白 ( _ )

## 4 入力したタイトルを記憶する

カーソルが消えるまで▶ ボタンを押す  
余ったところを空白にして、カーソルが消え  
るまで移動させます。



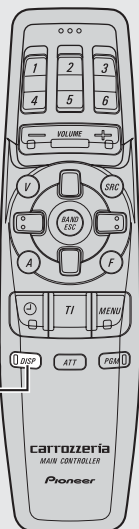
入力したタイトルが記憶されます。

BAND ボタンを押して、詳細設定モードを  
解除してください。

### メモ

タイトル入力中に BAND ボタンを押すと、詳細設  
定モードが途中で解除されます。(この場合、入力  
中のタイトルは記憶されません。)

ディスプレイ  
DISP ボタン



マルチCD

12

## 「CD TEXT」のタイトル や歌手名を表示させる

「CD TEXT」に対応しているマルチCD（「CDX-P650」など）に「CD TEXT」をセットしたとき、DISC TITLE（ディスク名）、DISC ARTIST NAME（歌手名）などを表示させることができます。一度に10文字表示することができます。また、隠れている文字も順に表示させることができます。

チェック 「CD TEXT」に対応しているマルチCD（「CDX-P650」など）の機能です。

### 「CD TEXT」について

「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記のマークのついているCDは、「CD TEXT」です。（下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。）



表示切り換え

1 表示を切り換える

DISP ボタンを押す  
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

DISC TITLE (ディスク名)

DISC ARTIST NAME (歌手名)

TRACK TITLE (曲名)

TRACK ARTIST NAME (歌手名)

DISC TITLE (ディスク名) に戻る



再生中の「CD TEXT」に記憶されている  
中から選んだタイトルが表示されます。

隠れている表示を表示する

1 隠れているタイトルを表示する

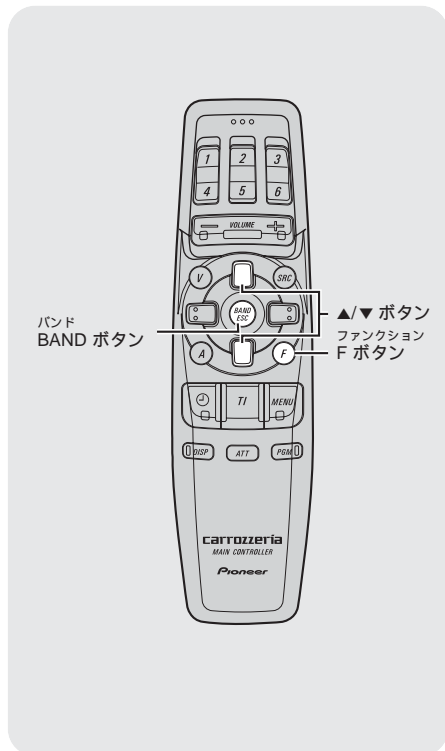
DISP ボタンを 2 秒以上押す



隠れている文字が順番に表示されます。

メモ

TRACK ARTIST NAME (歌手名) などが記憶され  
ていないCDで表示を切り換えると、“NO T  
ARTIST NAME” などが表示されます。



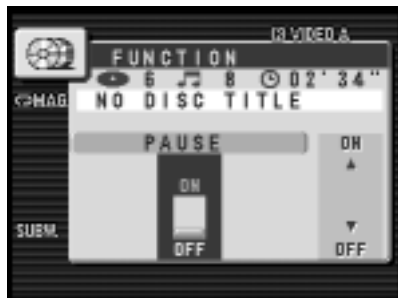
## マルチCD 13 CD再生を一時停止する

ポーズ

CD再生を一時停止することができます。

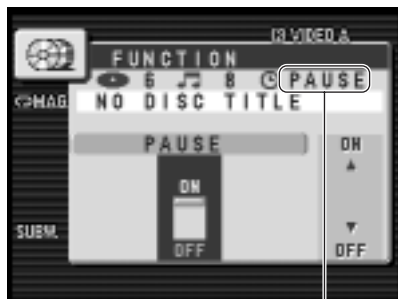
### 1 ポーズモードにする

F ボタンを押して選ぶ  
(※ マルチCD ④ 22 ページ)



### 2 CD再生を一時停止する

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで再生)



一時停止中に表示されます。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりすることができます。

チェック コンプレッション / DBE機能の付いたマルチCDプレーヤー（「CDX-P620S」など）で操作できます。

### コンプレッションについて

コンプレッションは、大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

### DBEについて

DBEとは、Dynamic Bass Emphasis (ダイナミック バス エンファシス) の略です。DBEは、車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

## 1 COMP切り換えモードにする

Fボタンを押して選ぶ

( マルチCD ③ 22ページ)



現在のコンプレッション / DBEの状態が表示されます。

### ご注意

コンプレッション/DBE機能のないマルチCDを組み合わせたときは、「NO COMP」が表示されて、操作できません。

## 2 機能を選ぶ

▲または▼ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

COMP OFF

COMP 1 (コンプレッション 1)

COMP 2 (コンプレッション 2)

COMP OFF

DBE 1

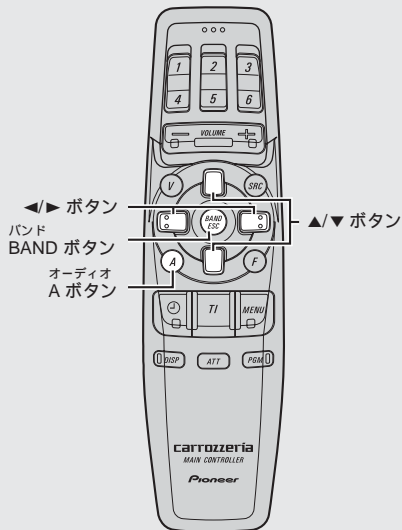
DBE 2

COMP OFFに戻る

BANDボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

### メモ

コンプレッション、DBEともに1より2の方が効果が大きくなります。



## 音の調節 1 オーディオ調節モードの切り換えかた

音を調節するときは、オーディオ調節モードを切り換えて操作します。

### 1 オーディオ調節モードを切り換える

A ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

音量バランス調節モード (E3 音の調節 ②)

音質調節モード (E3 音の調節 ③ 42 ページ)

ラウドネスモード (E3 音の調節 ④ 43 ページ)

サブウーファーモード  
(E3 音の調節 ⑤ 44 ページ)

サブウーファー調節モード  
(E3 音の調節 ⑥ 46 ページ)

FIE モード (E3 音の調節 ⑦ 47 ページ)

SLA モード (E3 音の調節 ⑧ 48 ページ)

音量バランス調節モードに戻る

### メモ

オーディオ調節モードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

サブウーファーモードは、サブウーファーをONにしているときだけサブウーファー調節モードに切り換わります。

ラジオのFM放送を聞いているときは、SLAモードには、切り換わりません。


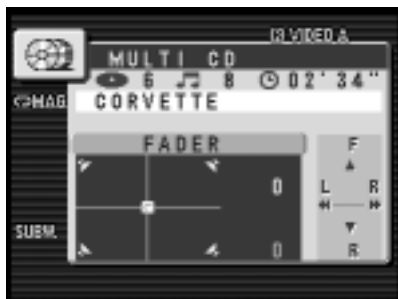


## 前後左右の音量バランスを調節する

フェーダー / パランス

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。

## 1 音量バランス調節モードにする

A ボタンを押して選ぶ  
( 音の調節 ①)

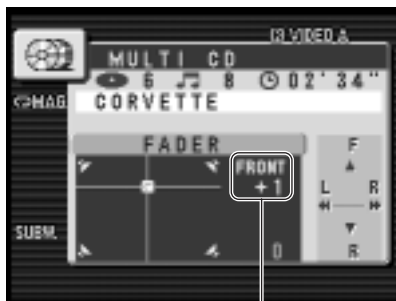
## 2 音量バランスを調節する

前後を調節する

▲または▼ボタンを押す

▲：前を強めるとき

▼：後ろを強めるとき

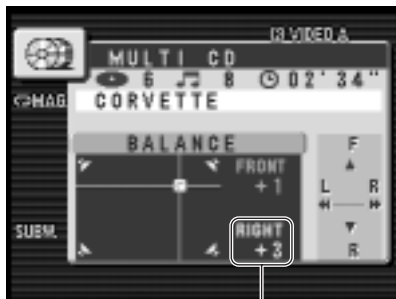
FRONT + 15 ~ REAR + 15の範囲で調節  
できます。

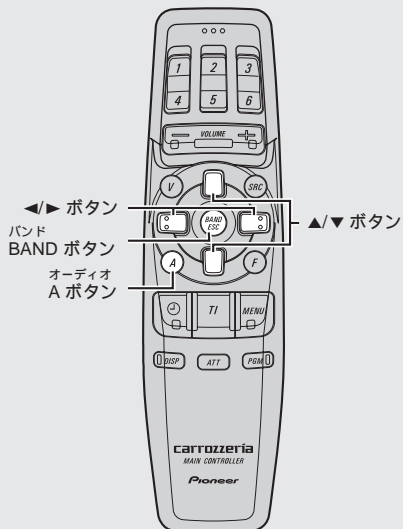
左右を調節する

◀または▶ボタンを押す

▶：右を強めるとき

◀：左を強めるとき

LEFT + 9 ~ RIGHT + 9の範囲で調節  
できます。BAND ボタンを押して、オーディオ調節  
モードを解除してください。



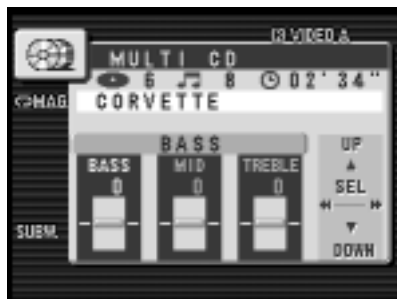
### 音の調節 3 低音・中音・高音を調節する

低音、中音、高音をそれぞれ強めたり、弱めたりすることができます。

#### 1 音質調節モードにする

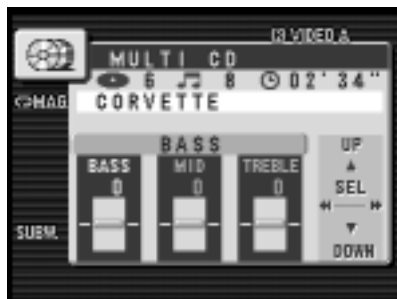
A ボタンを押して選ぶ

(※ 音の調節 ① 40 ページ)



#### 2 調節したい音質を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す



低音 (BASS)、中音 (MID)、高音 (TREBLE) の中から選ぶことができます。

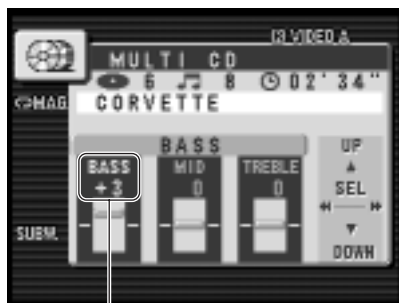
小さな音量で聞いているときの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

### 3 音質を調節する

▲または▼ボタンを押す

▲：強めるとき

▼：弱めるとき



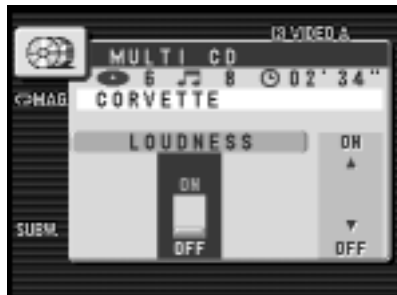
- 6 ~ + 6の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

### 1 ラウドネスモードにする

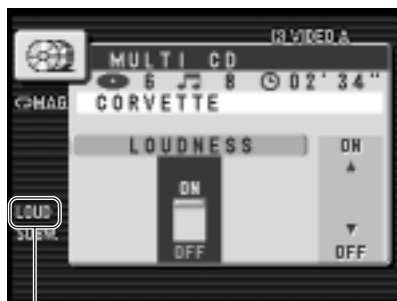
A ボタンを押して選ぶ

( 音の調節 ① 40 ページ)



### 2 ラウドネスをONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



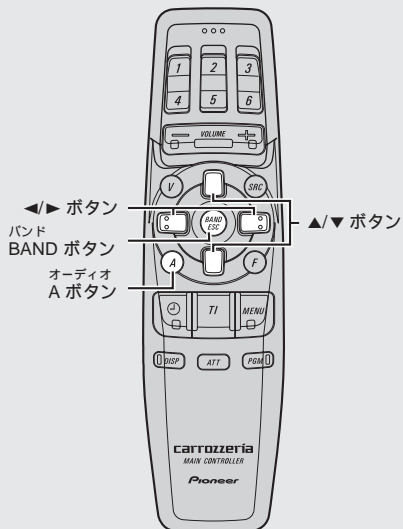
ラウドネスがONのとき表示されます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

サブウーファーの出力をON/OFFしたり、位相の設定をすることができます。

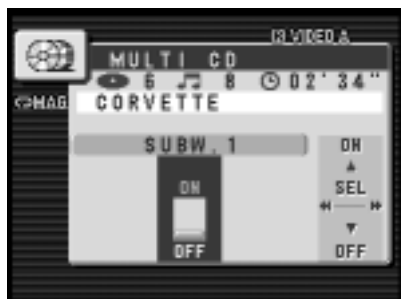
#### 位相切り換えについて

サブウーファーから出力される音の中には、フロント/リアースピーカーから出力される音と同じ周波数帯域のものが含まれています。車内条件により、これらの音の位相どろろが反転（干渉）すると、その周波数帯域が打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐものが、サブウーファーの位相切り換えです。車内条件によって、位相の正相（フロント/リアースピーカーと同時に出力される）が良いか、逆相（フロント/リアースピーカーとタイミングをずらして出力される）が良いかを選んで設定してください。



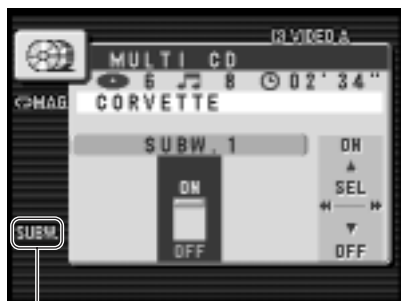
## 1 サブウーファーモードにする

A ボタンを押して選ぶ  
(音の調節 40 ページ)



## 2 サブウーファーを ON にする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで OFF)

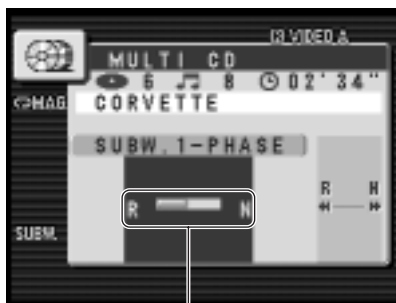


サブウーファーが ON のときに表示されます。

## 3 位相を切り換える

◀ または ▶ ボタンを押す

- ◀ : R (逆相)
- ▶ : N (正相)

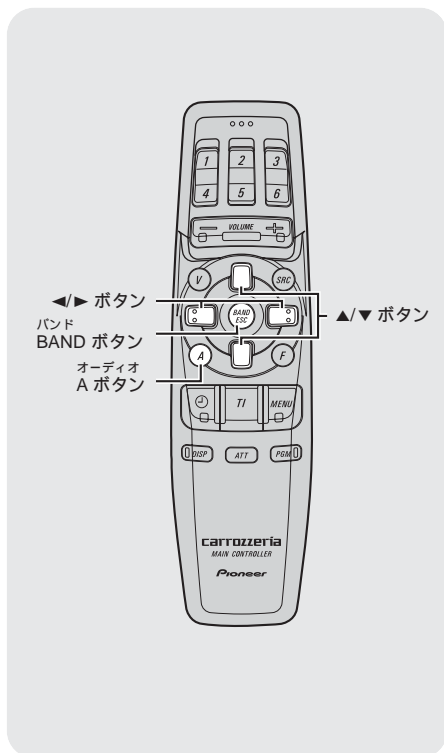


R と N を切り換えることができます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

### メモ

サブウーファーを OFF にしたときは、サブウーファー調節モードには、切り換わりません。



## 音の調節 6 サブウーファーを調節する

サブウーファーの出力をONにすると、カットオフ周波数、出力レベルの設定をすることができます。

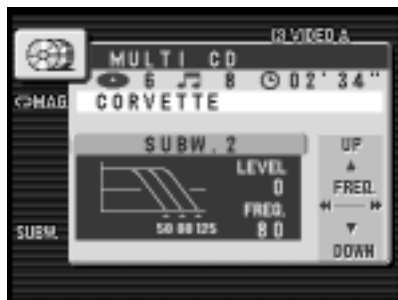
### カットオフ周波数について

50、80、125 (単位: Hz) の中から選んだ周波数以下の音域がサブウーファーから出力されます。

## 1 サブウーファー調節モードにする

A ボタンを押して選ぶ

(※ 音の調節 ① 40 ページ)



### メモ

サブウーファーをOFFにしたときは、サブウーファー調節モードには、切り換わりません。

後ろのスピーカーの音を低音だけにして、後ろからではなく前から音が聞こえてくるようにすることができます。

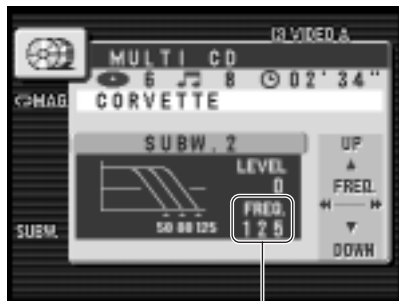
## 2 カットオフ周波数とレベルを調節する

カットオフ周波数を選ぶとき

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 高い周波数を選ぶとき

◀ : 低い周波数を選ぶとき



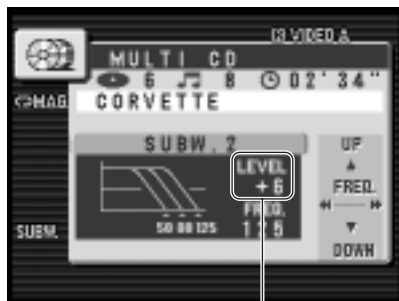
周波数は50、80、125（単位：Hz）の中から選ぶことができます。

レベルを調節するとき

▲または▼ボタンを押す

▲ : レベルを大きくするとき

▼ : レベルを小さくするとき



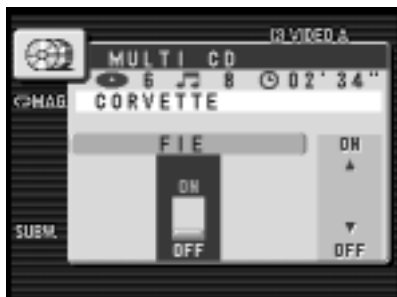
レベルは - 6 ~ + 6 の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

## 1 FIE モードにする

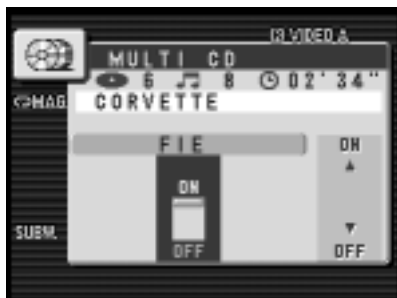
A ボタンを押して選ぶ

(音の調節 ① 40 ページ)



## 2 FIE を ON にする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで OFF)

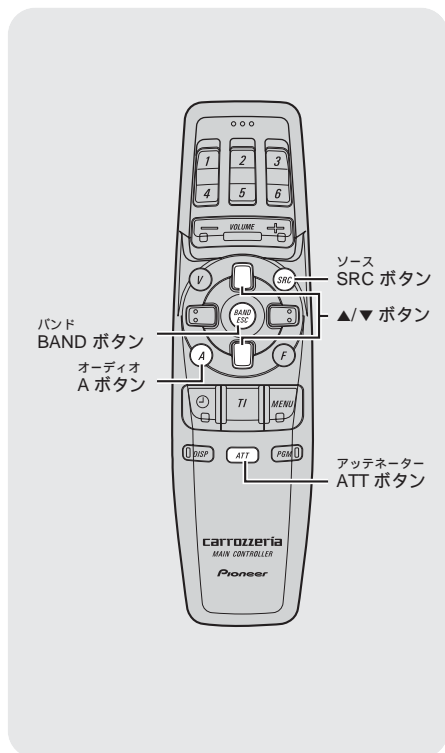


BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

### メモ

FIE とは、Front Image Enhancer (フロントイメージエンハンサー) の略です。

2スピーカーシステムをお使いの方は、FIE を OFF にしてください。



## 音の調節 8 各ソースの音量の違いをそろえる

ソースを切り換えたとき音量に違いが出ないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量の違いをそろえることができます。

### 1 FM 放送を受信し、FM の音量を確かめる

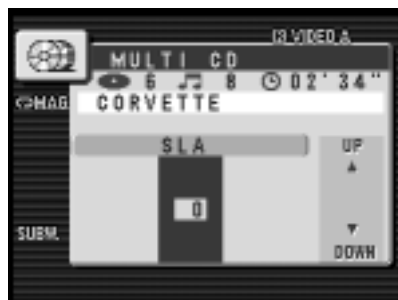
SRC ボタンを押す  
(☞ ここだけで ② 10 ページ)

### 2 調節したいソースに切り換える

SRC ボタンを押す  
(☞ ここだけで ① 8 ページ)

### 3 SLA モードにする

A ボタンを押して選ぶ  
(☞ 音の調節 ① 40 ページ)





瞬時に音量を  
小さくする

アッテネーター

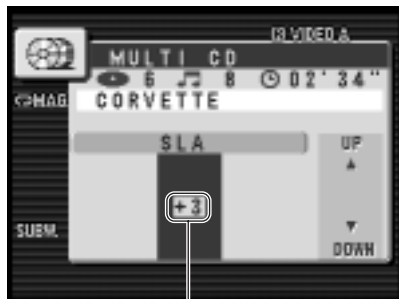
車内の会話が聞き取りにくいときに、瞬時に音量を小さくすることができます。

## 4 レベルを調節する

▲または▼ボタンを押す

▲：レベルを大きくするとき

▼：レベルを小さくするとき



- 4 ~ + 4の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

## メモ

SLAとはSource Level Adjuster (ソースレベルアジャスター) の略です。

FMの音量を基準に他のソースとの音量差を調節するため、FMを聞いているときは、SLAモードに切り換えることはできません。

AM、テレビ、CD、MD、AUX (外部機器)、ビデオ、スピーカー入力の音量差をそれぞれ調節することができます。なお、1枚型CDとマルチCD、1枚型MDとマルチMD、TVとビデオ、AUX (外部機器) とスピーカー入力、AMと交通情報 (E3P その他 57 ページ) は、それぞれ同じ設定になります。

1 瞬時に音量を  
小さくする

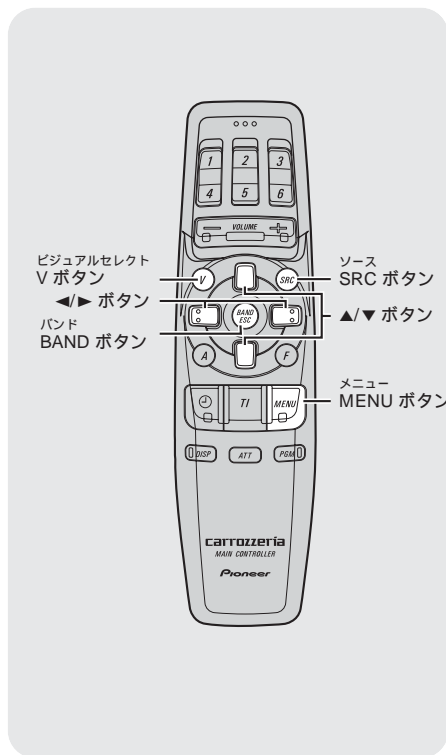
ATT ボタンを押す

ボタンを押すごとにON/OFFします。



アッテネーターがONのとき点滅します。

アッテネーターがONのときは、音量が約1/10になります。



映像  
1

## 画質を調節する

テレビやビデオ A、B の映像は、色あいや色の濃さなどを調節することができます。

### 1 調節したいソース (映像) を選ぶ

SRC ボタンを押す  
(※ ここだけで ① 8 ページ)

### 2 画質調節モードにする

MENU ボタンを押す



### 3 画質を調節にする

調節する項目を選ぶとき  
▲または▼ボタンを押す



SHARP (鮮明さ)、HUE (色あい)、COLOR (色の濃さ)の中から選ぶことができます。

レベルを調節するとき

◀または▶ ボタンを押す



調整項目	◀側	▶側
SHARP	柔らかくなる	はっきりする
HUE	赤みがる	緑がる
COLOR	薄くなる	濃くなる

BAND ボタンを押して、画質調節モードを解除してください。

#### メモ

画質調節モードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

テレビ、ビデオA、ビデオBの映像で調整内容が別々に記憶されます。

## 映像 2

# いろいろな映像を見る

音声は現在聞いているソースのまま、映像だけをお好みのソース(ナビゲーションやビデオ)に切り換えることができます。

### 1 ナビゲーションまたはビデオの電源を入れる

( ナビゲーションまたはビデオの説明書)

### 2 ナビゲーションまたはビデオの映像にする

V ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



現在聞いているソースの映像

ナビゲーションの映像 (NAVI)

TVチューナーの映像 (TV)

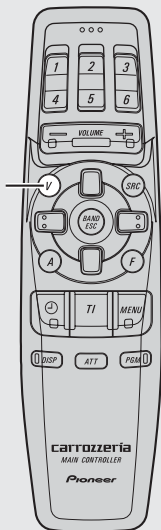
ビデオAの映像 (VIDEO A)

ビデオBの映像 (VIDEO B)

現在聞いているソースの映像に戻る

#### メモ

ビデオの設定 ( その他 ⑩ 64 ページ) をONにしないと、ビデオAまたはBには切り換わりません。パイオニア製ナビゲーションシステムと接続されていないと、ナビゲーションには切り換わりません。

ビジュアルセレクト  
V ボタン映像  
3リアモニターで  
ビデオの映像を見る

RCA リアモニター出力に、後部座席専用のモニターを接続すれば、ビデオ A または B の映像を後部座席でも楽しむことができます。(詳しい接続方法は (P. 28) 取付説明書)

## リアモニター映像について

リアモニターには、ソース表示や画質調節の表示はされません。

リアモニターには、パーキングブレーキの ON/OFF に関係なく映像が表示されますので、走行中でもテレビやビデオの映像を見ることができます。

## 安全走行のために

リアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができる位置には、絶対に設置しないで下さい。

## 1 ビデオの映像を選ぶ

V ボタンを 2 秒以上押す  
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



ビデオ A の映像 (VIDEO A)

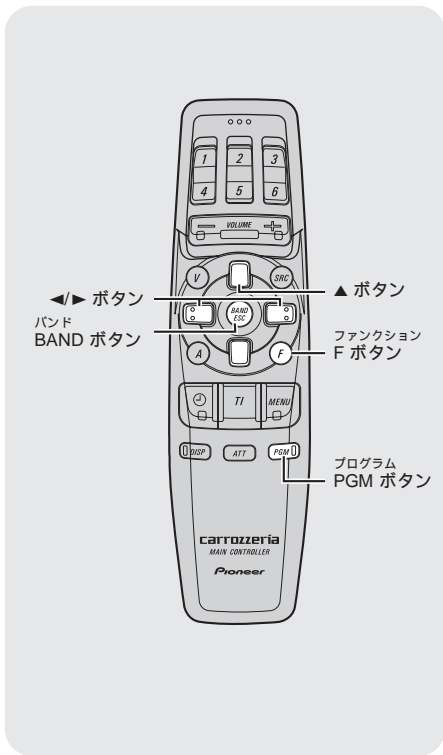
ビデオ B の映像 (VIDEO B)

ビデオ A の映像に戻る

## メモ

リアモニターの映像と音声を、別々に切り換えることはできません。





その他

1

## よく使う機能を学習させる

よく使う機能をソースごとに、PGM ボタンに学習させることができます。学習させた機能は、モードを切り換えなくても操作できるようになります。(初期設定では、ラジオで BSM、マルチ CD でポーズが学習されています。)

マルチ CD のとき

### 1 プログラムファンクション設定モードにする

F ボタンを 2 秒以上押してから、F ボタンを押して選ぶ (E3 マルチ CD ④ 22 ページ)



### 2 学習させたい機能を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



PAUSE (ポーズ)

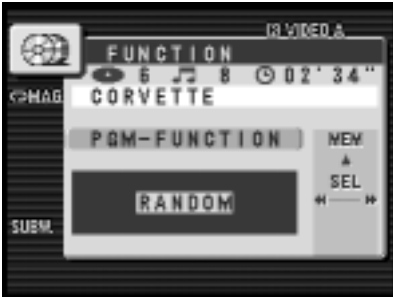
REPEAT (リピート)

RANDOM (ランダム)

ITS (ITS)

### 3 選んだ機能を学習させる

▲ ボタンを押す



点滅が止まり、選んだ機能が学習されます。

BAND ボタンを押して、プログラムファンクション設定モードを解除してください。

### 4 学習させた機能进行操作する

PGM ボタンを押す

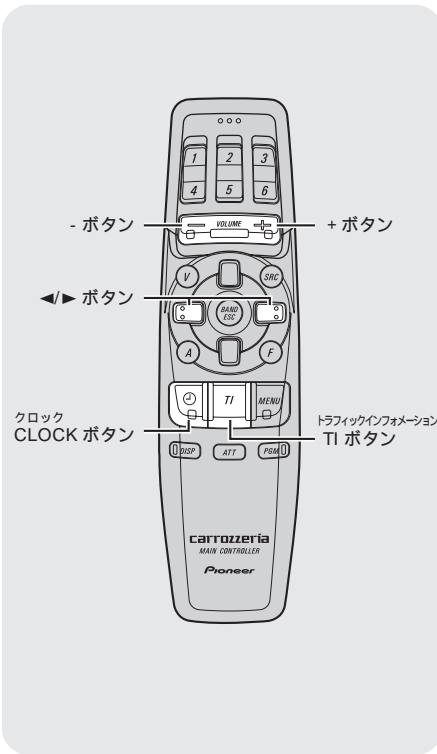
学習させた機能により、操作方法が以下のようにになります。

学習できる機能	押す	2 秒以上押す
ポーズ	ON/OFF	-----
リピート	切り換え	-----
ランダム	ON/OFF	-----
ITS	記憶	再生

#### ラジオのとき

ラジオでは、初期設定のBSM以外の機能を学習させることはできません。PGM ボタンを押したときの動作は、以下のようになります。

学習できる機能	押す	2 秒以上押す
BSM	OFF	ON



その他  
2

## 時計を表示させる

### 時計表示

本機の電源がONのときに、時計を表示させることができます。

### 1 時計を表示する

CLOCK ボタンを押す

ボタンを押すごとに、時計表示がON/OFFします。



時計表示



## 交通情報を受信する

AM 1,620 kHzまたは1,629 kHzの交通情報を、簡単に受信することができます。

### 1 交通情報を受信する

TI ボタンを押す



交通情報を受信します。

### 2 放送に合わせて周波数を切り換える

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 1,629 kHz にするとき
- ◀ : 1,620 kHz にするとき



周波数が切り換わります。

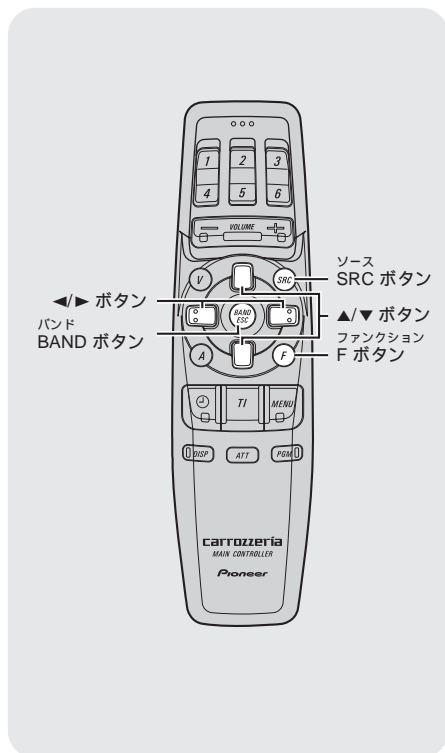
### 3 交通情報の受信をやめる

TI ボタンを押す

交通情報を受信する前の状態に戻ります。

#### メモ

この機能は、電源がOFFのときでも、どのソースからでも操作できます。  
 交通情報を受信しているときは、+ボタン、-ボタンを押して交通情報用の音量を設定することができます。別のソースに切り換えて音量を調節しても、次に交通情報を受信するときは前回の交通情報受信中に設定した音量で聞くことができます。



その他

## 4

# 初期設定モードの切り換えかた

外部機器や時計調節などの設定をするときは初期設定モードを切り換えて操作します。

### 1

## 電源をOFFにする

SRC ボタンを1秒以上押す

(☞ ここだけで ① 8 ページ)

### 2

## 初期設定モードにする

電源がOFF のときに、F ボタンを2秒以上押す

### 3

## 初期設定モードを切り換える

F ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

時計調節モード (☞ その他 ⑤)

AUX (外部機器) モード

(☞ その他 ⑦ 61 ページ)

オートアンテナモード

(☞ その他 ⑥ 60 ページ)

スピーカー入力モード

(☞ その他 ⑨ 63 ページ)

ビデオA入力モード (☞ その他 ⑩ 64 ページ)

ビデオB入力モード (☞ その他 ⑩ 64 ページ)

時計調節モードに戻る

## メモ

初期設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。(解除すると電源がOFF になります。)

時計を合わせることができます。

## 1 時計調節モードにする

電源がOFFのときに、Fボタンを2秒以上押す (※ その他 ④)



## 時刻を合わせる

▲または▼ボタンを押す

▲：時刻を進めるとき

▼：時刻を遅らせるとき

(押し続けると連続して時刻を送ることができます。)



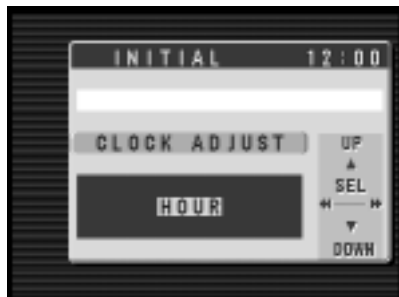
分を調節すると、0秒からカウントが始まります。

BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

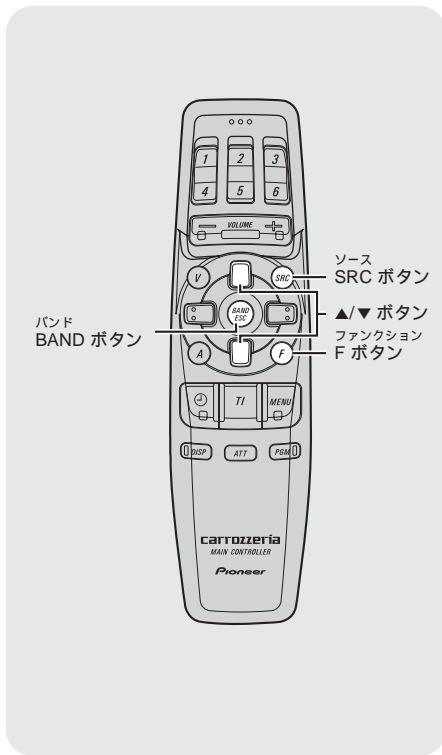
## 2 時計の設定をする

時または分を選ぶ

◀または▶ボタンを押す



押すごとに、HOUR (時)、MINUTE (分) が順に切り換わります。



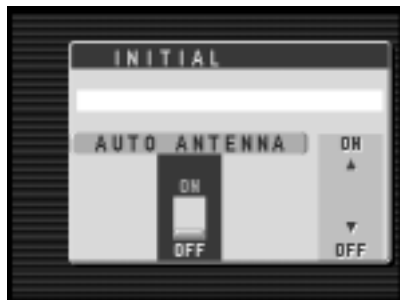
## 6 その他 テレビのときにオート アンテナをのぼす

オートアンテナの設定

パイオニア製のテレビ (7インチワイドAVシステムTV/CDプレーヤー「AVX-P7000CD」など) を接続した場合、ソースをテレビにしたときも、車に装備されているオートアンテナをのぼすことができます。

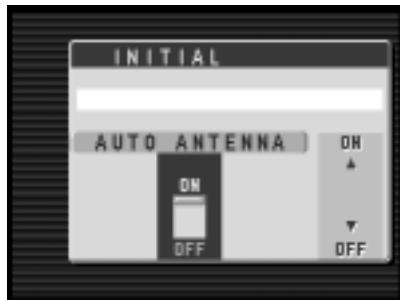
### 1 オートアンテナモードにする

電源OFFのときにFボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ  
(※ その他 ④ 58 ページ)



### 2 オートアンテナの設定を ONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



#### オートアンテナの設定について

設定がOFFのときは、ソースをラジオにしたときだけ、オートアンテナがのびます。

設定をONにすると、ソースをテレビにしたときも、オートアンテナがのびるようになります。

ラジオとテレビでオートアンテナを共用するときは、設定をONにしてください。

### 3 ソースをテレビにする

SRC ボタンを押して選ぶ  
(※ ここだけで ① 8 ページ)

オートアンテナがのびるようになります。

本機にDATやVTRなどの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。

## 外部機器との接続について

別売のRCA/IP-BUSインターコネクター「CD-RB20」または「CD-RB10」を使うと、RCA出力のあるDATやVTRを、外部機器として本機に接続することができます。詳しくは、RCA/IP-BUSインターコネクターの説明書をご覧ください。

## 1 AUX (外部機器) モードにする

電源OFFのときにFボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ

(☞ その他 4 58ページ)



## 2 AUX (外部機器) の設定をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

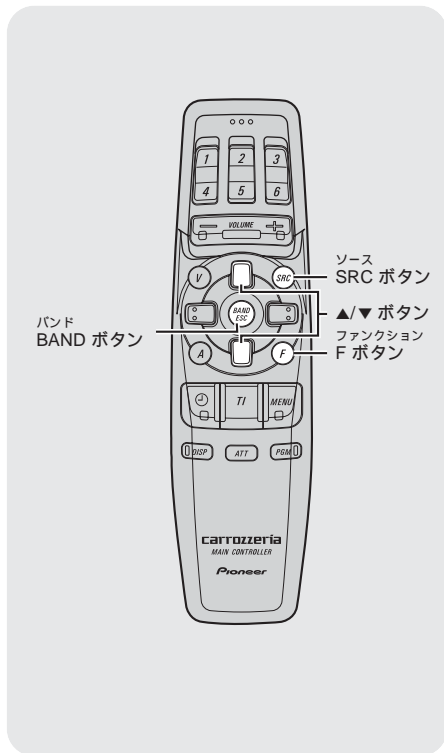
## 3 ソースをAUXにする

SRCボタンを押して選ぶ

(☞ ここだけで 1 8ページ)



ソースをAUXに切り換えると、外部機器の音声が出力されます。



その他

8

## 外部機器の名称を入力する

接続した外部機器の名称を入力することができます。

1

### ソースをAUXにする

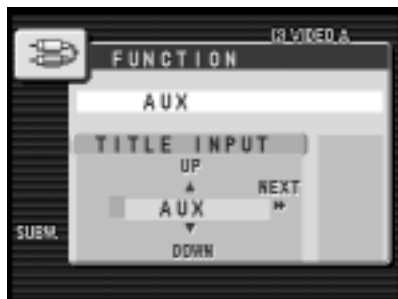
SRC ボタンを押して選ぶ

( ここだけで ① 8 ページ)

2

### 外部機器の名称入力モードにする

F ボタンを2秒以上押す



3

### 外部機器の名称を入力し、記憶させる ( マルチCD ① 34 ページ)

CDタイトル入力の手順3、4を参照し、同じ操作で外部機器の名称を記憶させてください。

例) “DAT” を記憶させた場合



“AUX” の表示のかわりに、記憶させた名称が表示されます。

本機のスピーカー入力端子に外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。

## 外部機器との接続について

付属のスピーカー入力コードを使うと、スピーカー出力のあるカーステレオを、外部機器として本機に接続することができます。(詳しい接続方法は (☞ 取付説明書))

## 1 スピーカー入力モードにする

電源OFFのときにFボタンを2秒以上押ししてから、Fボタンを押して選ぶ

(☞ その他 4 58ページ)



## 2 スピーカー入力の設定をONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)

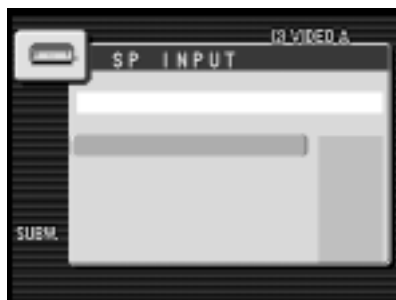


BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

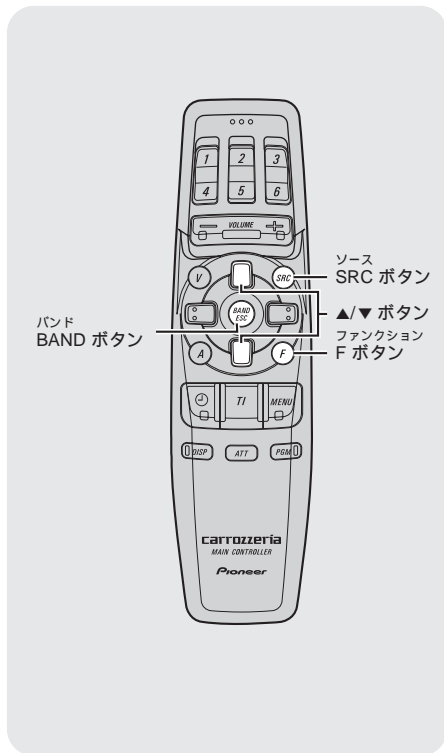
## 3 ソースをスピーカー入力にする

SRCボタンを押して選ぶ

(☞ ここだけで 1 8ページ)



ソースをスピーカー入力に切り換えると、スピーカー入力端子に接続した機器の音声が出力されます。



## 10 その他 ビデオ入力の映像を見る

本機のビデオ入力AまたはBに外部ビデオ機器を接続すると、その映像を見ることができます。

### 1 ビデオAまたはビデオB 入力モードにする

電源OFFのときにFボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ  
(☞ その他 ④ 58 ページ)



### 2 ビデオ入力の設定を ONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)




BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。



### 3 ソースをビデオ A または B にする

SRC ボタンを押して選ぶ

( ここだけで ① 8 ページ)



ソースをビデオ A または B に切り換えると、ビデオ入力 A または B に接続した機器の映像が出力されます。

その他  
11

## 本機のリセットについて

### リセット

本機のいろいろな設定を初期設定状態（ご購入時の状態）にすることができます。

#### リセットボタンについて

リセットボタンを押すと、本機のマイコンが初期設定状態（ご購入時の状態）に戻ります。次のようなときに、リセットボタンを押してください。

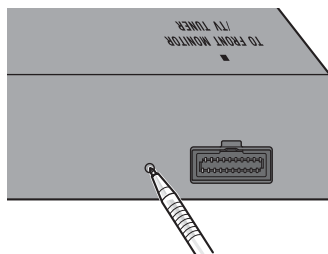
接続が終わったとき。

本機が正しく動作しないとき。

モニターが正しく表示されないとき。

## 1 本機をリセットする

ペン先などでリセットボタンを押す



本機のマイコンが初期状態に戻ります。

その他  
12

## ミュート機能について

### ミュート

#### オーディオミュートについて

ミュート機能のある製品（パイオニア製の携帯電話など）と本機を組み合わせると、その製品からミュート信号を受け取っているときだけ、ミュート機能が働きます。ミュート機能が働いているときの音量は“0”です。

ミュート機能が解除されると、自動的に元の音量に戻ります。

#### ナビゲーションミュートについて

パイオニア製のミュート機能のあるナビゲーションシステム（「AVIC-D9000」など）と本機を組み合わせた場合、ナビゲーションからガイダンス音声が出力されるときやナビゲーションを音声で操作するときに本機のフロントスピーカーにのみオーディオミュートがかかり音量が小さくなります。（ガイダンス音声は、本機のソースの音声と一緒にフロントスピーカーから出力されます。）

ミュート機能が解除されると、自動的に元の音量に戻ります。

故障かな？  
と思ったら  
修理を依頼される前に、  
次の表の内容をチェック  
してください。

チェックしても  
直らないときは  
本機をリセットしてくだ  
さい。(☞ その他 ⑩)

それでも  
直らないときは  
保証書とアフターサービ  
ス(☞ その他 ⑮ 70ページ)  
をお読みになり、修理を  
依頼してください。

## 共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクターが 正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、 もう一度確認してください。 (☞ 取付説明書)
	ヒューズが切れている	ヒューズが切れた原因を解決し、切れた ヒューズと同じ容量のヒューズと交換し てください。(☞ 取付説明書)
音が出ない。 音が小さい。	音量を下げている。	音量を上げてください。 (☞ ここだけで ② 11 ページ) (☞ ここだけで ③ 13 ページ)
	アッテネーターがONに なっている。	アッテネーターを解除してください。 (☞ 音の調節 ⑨ 49 ページ)
	前後の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節 ② 41 ページ)
前または後のスピーカーか ら音が出ない。	前後の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節 ② 41 ページ)
左または右のスピーカーか ら音が出ない。	左右の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節 ② 41 ページ)

## ラジオ

症 状	原 因	処 置
ラジオの受信中、“ジー ジー、ザーザー”という雑 音が多い。	放送局の周波数が合ってい ない。	周波数を正しく合わせてください。 (☞ ここだけで ② 11 ページ)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 (☞ ここだけで ② 11 ページ)
	周りに障害物があるなど、 受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくな ります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。 (☞ ここだけで ② 11 ページ)

## 本機の操作の概要

本機の操作のまとめです。ひと通りの操作が終わった後、操作を忘れたときなどにお使いください。

### ふだん使う機能の操作のしかた

ふだん使う機能は、▲/▼/◀/▶ ボタンおよびBANDボタンで操作します。

聞いているソース 押すボタン	CD、MDを聞いているとき	ラジオ、テレビを聞いているとき
◀または▶ ボタン	選曲、早送り/早戻し	自動選局、手動選局
▲または▼ ボタン	再生するディスクの切り換え (マルチCD、マルチMDを接続している場合のみ)	記憶させた放送局の切り換え
BAND ボタン	マルチCDの切り換え (マルチCDを2台以上接続している場合のみ)	バンド (FM/AM) の切り換え

### 便利な機能の操作のしかた

ふだん使う機能以外は、オペレーションモードを切り換えて操作します。オペレーションモードには4つのモードがあり、次の手順で操作します。

手 順	モード	ファンクションモード	詳細設定モード	初期設定モード	オーディオ調節モード
1	それぞれのモードにする	F ボタンを押す	F ボタンを2秒以上押す	電源がOFFのときに、F ボタンを2秒以上押す	A ボタンを押す
2	機能を切り換える	F ボタンを押す			A ボタンを押す
3	機能をON/OFFする または 項目を選ぶ	▲または▼ ボタンを押す			
		◀または▶ ボタンを押す			
4	それぞれのモードを解除する	BAND ボタンを押す			




## それぞれのモードで操作できる機能について

- ファンクションモード : ラジオのBSM (☞ ラジオ ① 14 ページ) やマルチCDのスキャン再生 (☞ マルチCD ⑤ 26 ページ) など、それぞれのソースの便利な機能を操作できます。
- 詳細設定モード : PGM (学習) ボタンの記憶 (☞ その他 ① 54 ページ) やマルチCDのタイトル入力 (☞ マルチCD ⑪ 33 ページ) など、便利な機能の詳細を設定できます。
- 初期設定モード : 外部機器 (☞ その他 ⑦ 61 ページ) などの設定ができます。
- オーディオ調節モード : フェーダー/バランス (☞ 音の調節 ② 41 ページ) など、音に関する調節ができます。

## ガイド表示について

本機の操作を行っているとき、ディスプレイを見て操作ができるように、ディスプレイにガイド表示が出ます。



表示の例	内容
	▲/▼/◀/▶ ボタンで操作 できます。
	▲または▼ボタンで機能の ON/OFF ができます。
	◀または▶ ボタンで項目を 選ぶことができます。

## 保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

## 保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

## 保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

## 保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

## 補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

## ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアお客様相談センターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

### FM チューナー部

受信周波数帯域 : 76.1 ~ 89.9 MHz  
 実用感度 : 9 dBf (0.8  $\mu$ V/75、モノラル、S/N : 30 dB)  
 S/N : 70 dB (IHF-A ネットワーク)  
 S/N : 50 dB 感度 : 14 dBf (1.4  $\mu$ V/75、モノラル)  
 周波数特性 : 30 ~ 15,000 Hz ( $\pm$  3 dB)  
 ステレオ  
 セパレーション : 40 dB (65 dBf 入力、1 kHz)  
 高調波歪率 : 0.3 % (65 dBf 入力、1 kHz、ステレオ)

### AM チューナー部

受信周波数帯域 : 522 ~ 1,629 kHz  
 実用感度 : 18  $\mu$ V (S/N : 20 dB)  
 実効選択度 : 50 dB ( $\pm$  9 kHz)

### オーディオ部

最大出力 : 45 W  $\times$  4  
 定格出力 : 22 W  $\times$  4 (50 ~ 15,000 Hz、5%)  
 トーン  
 コントロール : バス :  $\pm$  12 dB (80 Hz)  
 ミドル :  $\pm$  12 dB (400 Hz)  
 トレブル :  $\pm$  12 dB (10 kHz)  
 ラウドネス  
 コントナー : +10 dB (100 Hz)、+7 dB (10 kHz)  
 (ボリューム : - 30 dB)  
 サブウーファー  
 出力 : 周波数 : 50 Hz/80 Hz/125 Hz  
 スロープ : - 18 dB/oct.

### 負荷

インピーダンス : 4 (4 ~ 8 使用可能)  
 プリアウト  
 最大出力レベル : 2.2 V  
 出力  
 インピーダンス : 1 k

### 映像部

外部映像  
 入力レベル : 1 V/75 ( $\pm$  0.2 V)  
 映像出力レベル : 1 V/75 ( $\pm$  0.2 V)

### 共通部

使用電源 : DC 14.4 V (10.8 ~ 15.1 V 使用可能)  
 アース方式 : マイナスアース方式  
 最大消費電流 : 10 A  
 外形寸法  
 (取付寸法) : 307 (W)  $\times$  41 (H)  $\times$  187 (D) mm  
 質量 : 1.8 kg (コードユニット含まず)

### 付属品

コードユニット : 1  
 取付ネジ類 : 1 式  
 メイン  
 コントローラー : 1  
 単 4 形乾電池 (R03) : 2  
 取扱説明書 : 1  
 取付説明書 : 1  
 安全上のご注意 : 1  
 保証書 : 1  
 ご相談窓口・  
 修理窓口のご案内 : 1

### メモ

上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

## お客様ご相談窓口 (全国共通フリーフォン)

### お客様相談センター

カーステレオ/カーナビゲーション製品に関するお問い合わせ窓口

 0070-800-818111

家庭用オーディオ/ビデオ製品に関するお問い合わせ窓口

 0070-800-818122

カタログのご請求に関する窓口

 0070-800-818133

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。  
修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

© パイオニア株式会社 1999

< 99D00F0T01 > < CRA2700-A >